

毎月1日発行
発行所　むらさき学園
発行者　家田光信
住　所　〒617-0814
長岡京市今里 5－12－9
TEL（075）953 － 0505
・ホームページURL
http://www.sepia.dti.ne.jp/~yoh-murasaki/
・Eメールアドレス
yoh-murasaki@jasper.dti.ne.jp

園長と語ろう

― 三学期の保育方針 ―

園長　家田　美里

新年あけましておめでとうございます。一年の中で一番短い三学期が始まりました。子ども達の園生活は、一、二学期の成長を踏まえての三学期になります。二学期の前半では、今まで同じバスコースの友だちやプレイホームで出会った友だちと毎日学年を越えて遊んでいました。運動会が終わった頃から、クラスメイトと遊ぶ楽しさに気づいたのかクラスメイトと遊ぶ時間が増えました。そんな中で自分達の遊びを見つけ、そこから「なにしてるの?」と仲間が増え、遊びがどんどん広がりました。

そして三学期。年長児は小学校へ進学の年になります。楽しみ半分、不安半分と複雑な心境です。コロナ禍で生まれた彼らは、入園前に公園で遊んだり、同年代と遊ぶ機会が少なく家の中で過ごしてきた時間が多かったことでしょう。しかし、だんだん外遊びを求め、友だちを求め始めて、幼稚園生活では、新しい遊びを見つけたり友だちとの関わりを通して、体験学習を行いました。その経験が力となり自信となったはずです。三学期には、今まで以上にクラスで話し合い、自分たちで解決し、自信を持って進学できるように見守っていきましょう。

年中児は、一年を掛けて〝れもんのくみ〟を創り上げていきます。三学期はその集大成とでも言いましょうか。朝、登園をしたらまずうがいをして、友だちや先生達と「おはよう!」のセレモニー。れもんのくみへ行き、荷物をロッカーへ入れてから遊びが始まります。まずは担任と歌を歌って…と一、二学期でれもんのくみの生活のリズムが出来上がりました。三学期では、クラスメイトとの関わりや、年長児との遊びの中で真似ごとをしっかり積み重ね、体験学習をしながら自分達で自分達の社会を作って行きましょう。クラス全体を巻き込んで遊べたらいいですね。

さて、年少児はと言いますと、少人数ですがグループで遊ぶことが活発化してきました。それぞれが自立し、自己チューを出し合いながら三人以上のグループができ社会が成立しました。今までは一人で発揮していた自己チューが相手を受け入れたり拒否したりという自己チューになりそれが四歳児になるまで続きます。三学期は、こんなことを繰り返しながら成長できるのではないでしょうか!ただし、今年の年少のくみは約1/3が途中入園や満三歳児です。今は、クラスのみんなで出来る事となれば少なく、とても難しいです。一学期は園に慣れ登園する事を目標としています。よって一人ひとりの入園時期に合わせて、ゆっくりと園に慣れていき担任との信頼関係を築けるように心掛けていきます。

「今日、ようちえんで何かあったの?」と聞くのではなく、「きょうなーようちえんでなー…」と自分から話し始めた時は聞いてあげてください。そして楽しかった事、辛かった事を聞いた後は又、「いっておいでー」と送り出してください。我が子が辛い時、その姿を見ている保護者の方も辛いです。しかし園を休むと、子ども同士の関わりが減ってしまい、関わりが減ると、自立する機会も減ってしまうのです。私達大人はその機会を奪わないように気をつけたいと思います。

三学期は行事も多く、子ども達にとっては毎日が忙しくあっという間に過ぎていくでしょう。この短い間にそれぞれの学年で成長してほしいものです。

	月のねらい	解説
一月	一切無碍（いっさいむげ） もろともにさわりもなき仲間作り	寒いとき、つらいとき、悲しい時でもくじけず、みんなと共に発見のよろこびや感動をわかちあい、共に育って行こう。
二月	知恵如海（ちえにょかい） 真の知恵が海のように限りなく	正しい見解・正しい思い・正しい言葉・正しい行為・正しい生活・正しい努力・正しい気づかいなど、真理を見きわめる知恵を限りなくあふれさそう。
三月	発無上意（ほつむじょうい） 更に上もなき目標をたてて進む	目標に向かおうとする強い心で、そのたてる目標も「仏」をしたい、「法」にあこがれる人間完成に向かう努力をしよう。